

冬に備えましょう！

水道管の防寒対策のお願い

冬の厳しい寒さ（気温が氷点下4度以下）により水道管が凍結し破裂することがあります。こうした事故を未然に防ぐため、水道管の防寒対策をお願いします。

●水道管の凍結を防ぐには

- むき出しになっている水道管の部分や蛇口に布や市販の保温材などを巻き付けて保温し、その上からビニールテープなどを巻いて保温材が濡れないようにします。
- メーターボックスの中に、布切れ、新聞、発泡スチロールなどを濡れないようにビニール袋に詰めて入れ、水道メーターまわりも保温してください。

※検針に支障がないようお願いします。

- 夜中に微量（糸を引く程度）の水を蛇口から出しておく。（凍りにくくなります。）

●凍結したときは

- 気温の上昇により自然に溶けるのを待つか、凍ってしまった部分にタオルや布などをかぶせて、その上から「ぬるま湯」をかけてゆっくりと溶かしてください。

●破裂したときは

- ①メーターボックス内の止水栓（メーターバルブ）を右回しに閉めて、漏水を止めてください。
- ②バルブが付いていない場合は、破裂した部分に布やテープなどを巻き付けて応急措置をしてください。
- ③当企業団の指定給水装置工事事業者（水道業者）へ修理を依頼してください。ただし、修理費用はお客様負担となります。水道業者が不明な場合は、企業団のホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

●長期間留守にされる方、空き家をお持ちの方へ

水道を使用していない家屋については、事前にメーターボックス内の止水栓を閉めて凍結・漏水防止にご協力ください。凍結破損による漏水の発見が遅れると、家屋に被害を及ぼすとともに水道料金や修理費用が必要以上にかかることになります。

- ◎北向きで日陰にある
 - ◎風当たりの強い場所にある
 - ◎屋外にあり露出している
- このような条件では水道管は凍結しやすい。要注意じゃ！



水博士



古い布や発泡スチロールをビニール袋に詰めて入れる



※熱湯は、破裂ややけどなどの恐れがあります。



こまめな手洗いでウイルス対策

冬の乾燥や低温、閉め切られた室内といった環境は、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症が拡大しやすい条件と言われています。屋内のマスクの着用や換気とともにこまめな手洗いの習慣を続けていきましょう！



冬も手洗いバッチリして
ウイルス対策がんばろー！

スイテキマン

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- 爪は短く切っておきましょう
- 時計や指輪は外しておきましょう

- ① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲をのぼすようにこすります。
- ③ 指先・爪の間を念入りにこすります。
- ④ 指の間を洗います。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。
- ⑥ 手首も忘れずに洗います。

出典：厚生労働省のホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）
「手洗いについて」を加工、編集して作成しています。